

平成 31 年 1 月 8 日
気象ビジネス推進コンソーシアム
気 象 庁

平成 30 年度第 4 回気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) セミナーの開催について
～再生可能エネルギー分野・地理空間情報システム (GIS) における気象衛星データ活用の最先端～

1 月 30 日 (水) に、平成 30 年度第 4 回 WXBC セミナーを開催します。今回は、気象衛星観測データを利用して作成される様々な気象データをご紹介します。また、気象衛星観測データを活用した再生可能エネルギーに関する研究や地理空間情報システム (GIS) 関連のビジネス事例についてご紹介いただきます。

近年の IoT、人工知能 (AI)、ビッグデータ等に関する技術の発展により、多様な産業において、データを収集・分析する基盤が整いつつあります。これらのデータと気象データを比較し、高度に分析することにより、意思決定や業務プロセスの改善等を通じた生産性の向上が期待されます。

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) では、産業界における気象データの利用の拡大に資するべく、平成 29 年度より WXBC セミナーを開催しております。平成 30 年度は「気象データに触ってみよう！試してみよう！」を年間テーマとして、気象データの取り扱い方や活用方法に重点を置いた内容としています。

第 4 回 WXBC セミナーでは、現在世界最高性能を有する静止気象衛星「ひまわり 8 号」の観測データを利用して作成される様々な気象データをご紹介します。具体的には、人間の目で見たような色調に近づけた画像であるトゥルーカラー再現画像、雲・ダスト・雪氷の有無等に関する情報を提供する高分解能雲情報や、気温や天気 (晴れ・曇り等) の面的な分布を 1km の細かさで提供する推計気象分布について、データの中身、フォーマット、及びどのような現象が見えるかについての具体例をご説明いたします。

「実践的」「自社でのビジネスの参考になる」とご好評をいただいている気象データ活用事例に関しては、気象衛星観測データ等の気象データを活用した太陽光発電量予測等の再生可能エネルギーに関する最先端の研究についてご紹介いただきます。また、地理空間情報システム (GIS) と、気象衛星観測データや警報・注意報等の気象データとを繋ぐ様々なツールやサービス、そして気象と GIS が関連する国内外のビジネス事例についてご紹介いただきます。

体験コーナーでは、最新のデータ処理技術を用いて処理した高精細な「ひまわり 8 号」の様々な画像を大型モニターでご覧いただけるほか、GIS を利用した気象データ変換ツールや気象データ提供サービスに間近で触れていただけます。

セミナーにご参加いただくことで気象データをビジネスの現場で活用するためのスキルが身につきますので、是非ご参加ください！

1. 日時 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 13 時 00 分～16 時 30 分

※ 11 時 00 分～12 時 00 分に、希望される方を対象に基礎知識である「気象データの全体像 + 気象データの入手方法」についてご説明します。

2. 場所 気象庁講堂

詳細は以下の URL をご覧ください。

https://www.wxbc.jp/event/20190130_seminar201804/

お問い合わせ先：気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局 分木、福井
(気象庁総務部情報利用推進課 気象ビジネス支援企画室)
電話 03-3212-8341 (内線 4261・4262) FAX 03-3211-8083